

# 歴史講話・定例研究発表会のご案内

佐世保史談会会長 中島 眞澄

10月の歴史講話および定例研究発表会を下記の日程で開催いたします。  
ご多忙の折とは存じますが、会員の皆様はじめ、市民の皆様の多数のご参加をお待ちしております。

日 時 平成29年10月28日(土)  
会 場 佐世保市立図書館 3階視聴覚室  
主 催 佐世保史談会  
参加費用 200円(資料代)

お問合わせ先 そたに 祖谷 敏行 TEL 31-0492

\*駐車場に余裕がありませんので、公共交通機関でお越しください。

## (1) 歴史講話 13:00~13:40

話 題 土師器と須恵器

— 古代の器を考える —

講 師 中島 眞澄 (なかしま まさずみ) 会員

## (2) 定例研究発表 14:00~15:45 (質疑等含む)

主 題 百年前の早岐浦

— 先人が残した絵地図から見た早岐 —

発表者 垣田 鉄郎 (かきた てつろう) 会員

平成元年に作成された大正時代の早岐の絵地図から、当時の早岐の姿を考察します。古代から人が住みつき、繁栄してきた早岐。江戸時代、本陣が置かれ、干拓がすすめられ、現在の町の形がつけられました。

明治・大正・昭和になると、軍港都市となった影響を受け、更に繁栄しました。

しかし、戦争が終わり、高度成長期を迎え、周辺の町が大きく発展するにつれ、取り残されたかのように早岐の商店は閉まる店が増え、さびしくなっていました。かつての平戸往還を分断し、県道がつけられ、通りすぎるだけの町となってしまいました。ですが、今に残されたものもあります。

大火や水害での窮地を何度も乗り越えてきた早岐。これからのこの町を考える上で、町の歩んできた歴史を考察することは重要なことだと思います。

